

「健康経営」の意味と その実現を考える

～「健康に生きる」「しあわせに生きる」ために～

**開催
趣旨**

現在、産業界を中心に「働き方改革」の必要性が叫ばれています。さらに、2020年の初頭より発生した世界レベルでの「新型コロナ感染問題」は、それまでの生活のありよう、企業のありよう、仕事のありようを一変させました。私たちを取り巻く環境は厳しさを増しています。

しかし、このような状況だからこそ、これまでの考え方を見つめなおし、新たに進むべき道筋を見極める必要があると思います。

今回のシンポジウムでは、私たちひとり一人が、どう生きるべきか、どう働くべきか、「健康に生きる」とは、そして「しあわせに生きる」こととは何か、その本質を考えます。

日 時

2021年2月13日(土)13:00～15:30

**開催
方法**

Zoom(無料)

主 催:愛知東邦大学地域創造研究所

共 催:日本マーケティング学会リサーチプロジェクト健康経営プランディング研究会

後 援:フレンズ・TOHO

**内 容
(予定)**

開催挨拶 愛知東邦大学経営学部教授・地域創造研究所所長 上條 憲二

講演1 「企業理念への共感・共鳴は従業員の健康に影響を与えるか?」

一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻 教授 阿久津 聰

講演2 「笑顔でしあわせに生きる、笑顔でしあわせにはたらく」

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 ヒューマンラボ/オフィス・スリール 代表 岡本 直子

講演3 「健康に生き、しあわせに働く、真の健康経営である『しあわせ経営』とは?」

一般社団法人 日本産業医協会 会長 & 産業医 & 医師/(株)メディカル アンド ナレッジ カンパニー 代表取締役 佐野 正行

パネルディスカッション 「健康経営を考える」

上條 憲二／阿久津 聰／岡本 直子／佐野 正行

閉会挨拶 学校法人東邦学園理事長/愛知東邦大学学長 柚 直樹



シンポジスト

阿久津 聰 一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻 教授

一橋大学商学部卒。同大学大学院商学研究科修士課程修了(商学修士)。フルブライト奨学生としてカリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院に留学。最近の研究は、企業プランディングによって持続的に業績を向上させる経営のあり方に焦点を当てており、それに関連して、企業ブランドが象徴する経営理念によって従業員の健康まで実現する「健康経営プランディング」を提唱している。



シンポジスト

岡本 直子 ウエルビーイング研究・実践家

早稲田大学第一文学部卒。外資系広告会社のシニアマネジメントを経て、経営層・ミドルシニア層の成長・組織コミュニケーション活性化などを支援する組織開発コンサルタント。慶應義塾大学大学院・前野隆司教授(専門は幸福学)の研究室にて幸福学・幸福経営学を研究、実践しながら、一人ひとりが主体的となり、強いつながりのあるイキイキとした組織づくりを実現している。オフィス・スリール代表/社団法人 ウエルビーイング女子大(コミュニティ)主宰



シンポジスト

佐野 正行 医師/産業医/経営者

名古屋出身、名古屋大学医学部卒業。医師として、心身に大きな負担がかかる、非常に過酷な労働環境で働くことで、労働環境を整えることの大切さを実感。(株)メディカル アンド ナレッジ カンパニーを創業し、一部上場企業から中小企業まで、全国にクリニックを抱える産業医として活躍中。コミュニケーション方法・ストレス対策・労働環境改善・生活習慣/食事/睡眠改善など、幅広く適確なアドバイスを6000人以上の方達に行い、「健康で、しあわせに働く」ことをサポート。

株式会社 メディカル アンド ナレッジ カンパニー 代表取締役 & 医師/一般社団法人 日本産業医協会 会長 & 産業医/予防医学・代替医療振興協会 学術理事



コーディネーター

上條 憲二 愛知東邦大学 経営学部 地域ビジネス学科 教授

早稲田大学第一文学部卒。I&SBBDO入社。同社営業局長を経て執行役員。2004年よりブランドコンサルティングファーム・インターブランドジャパンにおいて数々の企業のブランド戦略に携わる。2014年4月から現職。愛知東邦大学のブランド・リニューアルを主導。日本ブランド経営学会会長。日本マーケティング学会「健康経営プランディング」研究メンバー。

申し込み方法

愛知東邦大学・地域創造研究所事務局宛 kenkyujo@aichi-toho.ac.jp

・2021年2月10日(水)までにお申し込みください。2月12日(金)にオンライン視聴のためのURLをお送りいたします。QRコードから自動作成メールでのお申し込みも可能です。

メール本文にお名前と勤務先(任意)をご記入ください。

QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。



愛知東邦大学 地域創造研究所 シンポジウム

「健康経営」の意味とその実現を考える

～「健康に生きる」「しあわせに生きる」ために～



開催 趣旨

現在、産業界を中心に「働き方改革」の必要性が叫ばれています。さらに、2020年の初頭より発生した世界レベルでの「新型コロナ感染問題」は、それまでの生活のありよう、企業のありよう、仕事のありようを一変させました。私たちを取り巻く環境は厳しさを増しています。

しかし、このような状況だからこそ、これまでの考え方を見つめなおし、新たに進むべき道筋を見極める必要があると思います。

今回のシンポジウムでは、私たちひとり一人が、どう生きるべきか、どう働くべきか、「健康に生きる」とは、そして「しあわせに生きることとは何か、その本質を考えます。

日時

2021年2月13日(土) 13:00~15:30

開催 方法

Zoom(無料)

内容 (予定)

主 催: 愛知東邦大学地域創造研究所
共 催: 日本マーケティング学会リサーチプロジェクト健康経営プランディング研究会
後 援: フレンズ・TOHO

開催挨拶 愛知東邦大学経営学部教授・地域創造研究所所長 上條 憲二

講演1 「企業理念への共感・共鳴は従業員の健康に影響を与えるか?」

一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻 教授 阿久津 聰

講演2 「笑顔でしあわせに生きる、笑顔でしあわせにはたらく」

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 ヒューマンラボ/オフィス・スリール 代表 岡本 直子

講演3 「健康に生き、しあわせに働く、真の健康経営である『しあわせ経営』とは?」

一般社団法人 日本産業医協会 会長 & 産業医 & 医師/(株)メディカル アンド ナレッジ カンパニー 代表取締役 佐野 正行

パネルディスカッション 「健康経営を考える」

上條 憲二/阿久津 聰/岡本 直子/佐野 正行

閉会挨拶 学校法人東邦学園理事長/愛知東邦大学学長 柚 直樹

申し込み 方法

愛知東邦大学・地域創造研究所事務局 宛 kenkyujo@aichi-toho.ac.jp

・2021年2月10日(水)までにお申し込みください。2月12日(金)にオンライン視聴のためのURLをお送りいたします。QRコードから自動作成メールでのお申し込みも可能です。
メール本文にお名前と勤務先(任意)をご記入ください。



QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。



シンポジスト 阿久津 聰

一橋大学商学部卒。同大学大学院商学研究科修士課程修了(商学修士)。フルブライト奨学生としてカリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院に留学。最近の研究は、企業プランディングによって持続的に業績向上させる経営のあり方に焦点を当てており、それに関連して、企業ブランドが象徴する経営理念によって従業員の健康まで実現する「健康経営プランディング」を提唱している。



シンポジスト 岡本 直子

早稲田大学第一文学部卒。外資系広告会社のシニアマネジメントを経て、経営層・ミドルシニア層の成長・組織コミュニケーション活性化などを支援する組織開発コンサルタント。慶應義塾大学大学院・前野隆司教授(専門は幸福学)の研究室にて幸福学・幸福経営学を研究、実践しながら、一人ひとりが主体的となり、強いつながりのあるイキイキとした組織づくりを実現している。
オフィス・スリール代表/社団法人 ウェルビーイングデザイン/ウェルビーイング女子大(コミュニティ)主宰



シンポジスト 佐野 正行

名古屋出身、名古屋大学医学部卒業。
医師として、心身に大きな負担がかかる、非常に過酷な労働環境で働くことで、労働環境を整えることの大切さを実感。
(株)メディカル アンド ナレッジ カンパニーを創業し、一部上場企業から中小企業まで、全国にクリアントを抱える産業医として活躍中。コミュニケーション方法・ストレス対策・労働環境改善・生活習慣/食事/睡眠改善など、幅広く適確なアドバイスを6000人以上の方達に行い、「健康で、しあわせに働く」ことをサポート。
株式会社 メディカル アンド ナレッジ カンパニー 代表取締役 & 医師/一般社団法人 日本産業医協会 会長 & 産業医/予防医学・代替医療振興協会学術理事



コーディネーター 上條 憲二

早稲田大学第一文学部卒。I&SBBD入社。
同社営業局長を経て執行役員。
2004年よりブランドコンサルティングファーム・インターブランドジャパンにおいて数々の企業のプランディングに携わる。
2014年4月から現職。愛知東邦大学のブランド・リニューアルを主導。
日本ブランド経営学会会長。
日本マーケティング学会「健康経営プランディング」研究メンバー。